

令和3年度行政マッチング商談会 行政逆マッチングニーズ一覧表

ニーズ 番号	部署等	課名等	各所属 ニーズ内容		
			現状の課題	解決するためのニーズ	想定する製品・サービス
1	企画政策部	秘書課	・市外の方に対し、春日井市をPRするノベルティグッズが少ない。	・新たなノベルティグッズの作成	・ノベルティグッズの提案 【例】：行催事で参加者に配布するグッズを視覚的にも楽しめるように春日井市らしいもの(形・パッケージ)にする。】
2	企画政策部	デジタル推進課	業務のBPRを行うにあたり、必要となる業務プロセスの可視化を行うためのノウハウや手法の蓄積がない。	簡単に業務フローの作成等を行うことができる。	業務プロセス作成ツール・BIツール
3	企画政策部	デジタル推進課	・各業務の遂行にあたり、職員の経験年数等により、知識やスキルが属人化しており、人によって対応が異なってしまうケースが生じがちである。 ・それぞれの業務について、関係法令や過去の事例を確認した上で、判断するには時間を要することもあり、職員にとって負担となり得る。	職員の経験年数を問わず、的確・迅速な判断を行うことができるよう、AIにより職員の知識サポートを行う。	・職員が入力した質問に対し、AIにより、過去の事例やノウハウに基づいた的確な回答候補を提案することのできるFAQシステム。 ・関連法令、判例、過去の対応事例等をデータとして蓄積し、所属内部における業務マニュアル・対応事例集としても機能するようなものを想定。
4	企画政策部	広報広聴課	広報編集時の校正(校閲)業務を複数の職員で行っているが、単純な誤字、脱字、文字揺れ、意図しない空白等の確認についても職員自身が行っているため、当該業務に時間を要するとともに、見落としの恐れがある。	誤字、脱字、文字揺れ、意図しない空白等の確認を専用ソフト等で自動で行う。	Adobe InDesign、Adobe Illustratorで作成した誌面について、行政用語・新聞用字用語を得意とする自動文書校正(校閲)ソフト(本市の広報編集行程等に対応可能なもの) 想定価格：50,000円/年程度
5	企画政策部	企画政策課	本市ふるさと納税の返礼品数を増やしたい。	より多くの事業者に、販売ルートとして本市のふるさと納税を活用してもらいたい。	①市内で生産・製造・主要な加工がなされた食品や日用品、工業製品などの物品。 ②市内で提供されるサービス。 (例1) 食事会プラン、宿泊プランなど春日井市の魅力を発信、体感できるもの。 (例2) 宅配クリーニングやエアコン清掃など生活関連サービス。
6	総務部	総務課	時間外の入出簿を紙で管理しており、出退勤が重なると記入する際に人が滞留してしまう。また、紙媒体のため、データ化するには手間がかかってしまう。	勤怠管理システムを導入することも考えられるが、経費面や職員証(タイムカード)との連携などがあり、導入に至っていない。	スマートフォンアプリ等を利用した簡易な入退行管理
7	総務部	総務課	本庁舎の市民ホールにトップライトが設置されており南東壁面はカーテンウォールが設置されている。その為、温度が高くなりやすく1階と一体になっているため、冷気が下階に降りており、2階の温度調整が難しい。また、行事等を1階で行った場合に太陽の光が業務の弊害となる事がある。	大空間を維持する為にトップライトやカーテンウォールは活かし、著しく景観が変わるようなものは避けたい。	遮熱・遮光塗料若しくはフィルム。価格と施工性を重視し、優れたものがあれば上階にも導入し、本庁舎全体の断熱効果を高める事を期待する。
8	総務部	総務課	本庁舎1階市民ホール上部トラスは定期点検を行っているが、万が一の落下物事故(ポルト・ガラス等)に対しての備えとして保護膜を敷けたい。	落下防止策として導入するため、そのものが落下した時に危険性がないこと、維持・メンテナンス性に優れた物(取付・取外し容易なもの)で、光を遮る事のないものを敷けたい。	保護膜(建設仮設シートのようなもの)でその面に広告や行政情報載せられるようなものであればなお良い。施工も含めての提案を希望する。
9	総務部	総務課	市役所内の啓発・注意・案内を行う際にその都度紙媒体をラミネートをして設置している。一時的なもの多いため看板を貸し出し、各課にて案内表示を作成し、印刷して貼る事を行っているため、業務効率化とコスト削減を図りたい。	啓発を行う設置面は看板だけでなく、庁舎壁面・ガラス面等多くの設置箇所が想定されるため自立式のものが取付方法に工夫を求めたい。	持ち運び可能なデジタルサイネージのようなもので ①掲載情報の入力も1基で完結できるもの ②画像データの入力も可能なようにインターネット回線に対応しているもの ③盗難防止対策がついているもの ④自立式若しくは取付が容易なもの 上記4点全てを満足する必要はないが、可能な限り対応された物を希望する。
10	総務部	総務課	コロナ禍において国内で在宅勤務が行われていたが、連絡ツールとしては個人の携帯電話やPCを利用してはいたが、自宅と本庁舎の連絡体制の強化のため、電話交換機と連絡を行いたい。	令和3年度に電話交換機を取り替える予定があるため、その電話交換機と連携させたシステム若しくは独立したシステムにする必要がある。	クラウド型交換機で個人携帯電話と連携できるアプリ若しくは端末。
11	総務部	総務課	棚・ラック・ロッカー等を設置した際に耐震固定の為に壁や床にLアングルで固定を施しているが、支持材がない場合固定が出来ない事がある。	棚の高さによって異なるが、1.8m~2.1m程のものに対応しているもので、各事務職員でも固定できるような簡易なものでかつ安全性が保障されるものを希望する。	強力接着材で可能であれば床面固定できるもの。
12	総務部	総務課	本庁舎正面案内に常時受付案内が滞在しているが、多言語・聴覚障がい・視覚障がいの方が来庁された場合それぞれのツールを使って対応を行っている。	今後の状況を鑑みた時に、左記ツールを一元化したものを導入していきたい。	タッチパネル式案内表示で音声案内・多言語化対応・自動応答サービスを備えたもの。(AI学習システムがあれば受付案内の人員費削減も視野にいれていく。)
13	総務部	総務課	庁舎内注意喚起を行う際に、啓発看板で行っているが視覚障がいの方に対する啓発方法が確立されていない。	現状の看板啓発に併せて利用できるようなもの。音声データについて自由に選択できるようなもの。	人感センサー付き音声案内器
14	総務部	総務課	地震防災対策としての用品を本庁舎内各倉庫に保管してあるが、有事の際利用する場合時間的なロスが出る。また、全職員に安定的に供給できているものでもなく自助力に不足を感じている。	事務スペース内におければ時間的なロスは少ないが、事務スペースにもそこまで余裕はない。	机・椅子・カウンター等本庁舎各階に設置してある事務用品と一体化した防災用品収納機能をもったもの。若しくは休憩用の椅子等でも可。
15	総務部	総務課	ウェブ会議・オンライン講習を行う際に、会議室や打合せスペースを利用するケースが多く、会議室の収容人数に対して非効率的な利用がみられる。	1人から2人程が入れる打合せスペースを設けたい。	組み立て式の打合せスペース(WE B会議用)で外部の音声が遮断されるようなものを希望。(費用が高場合は外部の音声が遮断せずとも個室が完成できるものでも可)
16	総務部	総務課	春日井市役所は、慢性的に市民待ち時間が長く、窓口が混雑する事が多い。	各窓口の手続きを取りまとめたコンビニ交付機のような多機能をもつものを取り入れた。何が出来る何が出来ないかは未調整。	コンビニ交付機類似品

ニーズ 番号	部署等	課名等	各所属 ニーズ内容			
			現状の課題	解決するためニーズ	想定する製品・サービス	備考
17	総務部	市民安全課	各季の交通安全運動期間等に実施するキャンペーンや交通安全教育活動において、その内容がマンネリ化している。	現在、市販されているノベルティやチラシ、交通安全教育機材等を活用し、交通安全啓発活動を実施しているが、従来の製品、方法に比べインパクトがあり、効果の高い、新しい手段、手法による啓発活動を展開していきたい。	インパクトがあり、効果の高い啓発方法の提案	
18	財政部	管財契約課	未利用地の土地を有効活用すること。 (普通財産土地、土地開発公社保有地、土地開発基金保有地)	企業や福祉施設等へ土地情報の周知をし、土地を活用してもらいたい。 【現在の周知方法】 ・市ホームページに活用希望のページを開設 ・企業活動支援課が、相談のあった企業へ情報を提供 ・「企業支援ガイド」へ広告掲載 ・課窓口にてチラシ設置	・駐車場や資材置場などとしての土地の賃貸 ・企業用地としての売却 ・住宅用地としての売却 など	それぞれの土地における建築要件は各企業において調査していただく必要があります。 また、土地により貸付のみの土地、短期貸付のみの土地があります。
19	財政部	管財契約課	市内土地の所有者より市へ土地を寄附することの要望があるが、市は行政目的のない土地の寄附は受け付けていない。そのため、土地を手放すことができずに困っている人がいる。 (相続により取得したが遠方に住んでおり、登記や売却に係る手間や費用と土地の価値が見合っていない。売却したくても買い手がつかない。など)	一般的な不動産業者では扱ってもらえない(買い手がつかない)土地の取得希望者を探すツールや仲介者	・市へ土地寄附の問い合わせがあった際に、民間での取得希望を募ることができるサービス ・土地寄附の問い合わせ窓口自体を請け負うサービス	
20	市民生活部	市民課	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、記載台や飛沫防止シート、待合のいす等を除菌しているが、除菌作業にはリスクと手間がかかる。	抗菌コーティング処理を施すことにより、長期間(1年間程度)の抗菌効果が期待できる。	抗菌・抗ウイルスコーティング	
21	文化スポーツ部	文化・生涯学習課	講座等の資料のうち、細かな写真や色分けがされているものについても、モノクロコピーで作成し配付している。	資料によっては、モノクロ印刷では内容が伝わりにくいものもある。	ランニングコストの低いカラープリンタ	
22	文化スポーツ部	道風記念館	昼間時間(開館中)における防犯対策を強化したい	職員の目が届きにくい場所の管理をしたい。	旧カメラの記録を生かすか、Wi-Fiなどによる館内パソコンでの常時監視体制の確立ができる。 コスト的(ランニングコストも含む)に安いもので次年度予算計上の参考とできるもの。	
23	文化スポーツ部	味菜ふれあいセンター	主催講座について、これまでは広報が重要な発信媒体となっていたが、その他有効な情報発信方法についても検討したい。	主催講座の魅力について、多くの方に周知し、申込につなげたい。	主催講座に関する情報についての新たな発信方法や、集客方法の提案。	
24	文化スポーツ部	味菜ふれあいセンター	新型コロナウイルス感染症対策を念頭に置いて、動画配信やZOOM等の導入など主催講座を自宅で楽しむことができるような企画を計画しようとするときに、当センター側にノウハウがないため、ほとんどが講師頼りになってしまう。また、主催講座に関する新たな周知方法として、予告編の動画などを作成することを検討しているが、それもノウハウがないため限界を感じている。	主催講座の動画配信やZOOM等の導入、動画作成や配信方法についてのサポートをしてほしい。	ZOOMなどを使用した主催講座の開催方法や、動画配信を行う際のサポート。 予告編の動画の作成やそれを配信する方法についての提案。	
25	文化スポーツ部	味菜ふれあいセンター	市民の方のニーズに合うような主催講座の企画運営に努めているが、参加者もシニア層に固定されがちで、働き世代などの新たな層の開拓が難しい。	これまで主催講座に参加したことがなかったような層を新たに開拓したい。	新たな層のニーズに応えることができるような企画の提案、集客の助っ手。 講師謝礼 8,000円/回	
26	文化スポーツ部	高蔵寺ふれあいセンター	御手洗や給湯室において不特定多数の利用がある為、新型コロナウイルス感染症対策として非接触などの対策を講じる必要がある。	不特定多数の利用者がいる為、接触を伴わないものにする。	御手洗は、オートストップ水洗式 (自動洗浄式は、電気配線等の工事が必要となり高額になる) 給湯室は、レバー式	
27	文化スポーツ部	南部ふれあいセンター	施設使用と無関係の車両の駐車が多々ある。 施設駐車場面積の約半分が事務所から見て施設建物の死角となっており、目が届かない。 職員が、不定期で状況確認しているが、不適切駐車がいつされたか、いついなくなったかが不明である。 また、不適切駐車の確認だけでなく、正常な駐車状況を確認することも施設運営には必要である。	周辺の民家が写らないように、監視カメラを固定設置し、事務所でモニターする。	確認用なので、高解像度や録画機能は必要なく、広角をカバーでき、ある程度の解像度を有する監視カメラと小型モニターが各1台、設置工事一式、「カメラ稼働中」の看板1枚。 想定価格：できる限り安価なもの	
28	文化スポーツ部	西部ふれあいセンター	市民講座・短期講座について、申込者が中・高齢者が多く、世代の偏りが見られる。参加者が伸びない講座がある。	新しい講座や講師の発掘。幅広い世代からの参加が望める講座の企画。 子育て世代が親子で参加できる新たな講座の企画。 (予算1回あたり8,000円)	新しい講座の企画、立案をして、講師を動員してもらえる人材を紹介してくれるサービス。(開催内容や開催時間。土・日曜、夜間開催も視野に)	
29	文化スポーツ部	西部ふれあいセンター	子育て世代や働く世代にも自宅で受講できるような講座を企画、運営するために、オンラインによる講座を検討しているが、当センター側には動画作成のノウハウがなく、対応できる講師も見つかっていない。	講師自身の動画作成から編集までの工程の技術を伝授してもらうことで、動画の作成ができる。 動画作成に対応できる講師の派遣から、動画作成及び編集までの一連の業務を委託できる。	動画作成及び編集のノウハウの提供。 講師派遣から動画の作成及び編集までの一連の業務を委託できる。(できるだけ低予算で)	
30	文化スポーツ部	中央公民館	中央公民館では、8面のテニスコートを管理しているが各コートに整備器具(コートブラシ・レイキ・ほうき)が設置してある。現状、防球ネットに掛ける方法で設置している。	各々のコートに防球ネットを利用せず簡易で収納できるもの	屋外用ブラシハンガー 1 6台 1台30,000円以下	
31	文化スポーツ部	知多公民館	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次亜塩素酸水等で施設の使用器具等を消毒している。	新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、不特定多数の来館者や施設に従事する職員の安全安心と、消毒作業の負担を軽減したい。	ウイルスや細菌等を不活化し増殖させないよう、施設内のコーティングを希望。(出来れば安価で)	

ニーズ 番号	部名等	課名等	各所属 ニーズ内容			
			現状の課題	解決するためニーズ	想定する製品・サービス	備考
32	文化スポーツ部	鷹来公民館	最近では特に、情報化に対応し、インターネットの利用の仕方やスマートフォンの使い方に対する講座の需要が高まっている。また、スタディールームの利用者からも、学習のためにネットでの検索ができる環境への要望が出ている。 施設には、防災用のフリーWi-Fiが設置されているが、1階スペースでの利用に限られ、集会室のある2階では対応が困難であること、また、30分で切れるように設定されていることなどから、ニーズに対応できていない。	2階にフリーWi-Fiを導入する。	当館は、令和6年度に大規模改修を予定しているため、配線工事を省略できる無線のフリーWi-Fiを希望。 講座時間を考慮し、2時間の接続設定としたい。	
33	文化スポーツ部	坂下公民館	公民館など公共施設の新型コロナ対策について、利用者の安全・安心を確保する必要がある。	利用者が安心して利用できるように、出入口を始め館内が常時除菌脱臭処理状態にしたい。	業務用次亜塩素酸空気除菌脱臭機の設置 空調機器に付加して館内全体を常時除菌脱臭できる装置 想定価格：不明 ※業務用ジアイーノは39万円/台	
34	文化スポーツ部	坂下公民館	高齢者を中心に市ホームページでの情報検索に不慣れた市民が多く存在するが、今後は広報紙だけではなく、ホームページからの情報発信等にも力を入れた。	ネットの情報検索と講座などの申し込みを可能にするためのスキル及びネットリテラシーを教える環境整備が必要。	市ホームページ活用動画の作成 ※市民病院や保健センターなどでの待ち時間に活用 活用普及に向け地域への出前講座の実施 想定価格：不明	
35	文化スポーツ部	青年の家	防音の為、密閉された部屋が多数存在するため、新型コロナウイルスの感染が懸念される。	より高度な空気清浄が必要。	ドクターエア、ジアイーノ等の高性能空気清浄機の導入。	
36	文化スポーツ部	東部市民センター	東部公民館で開催している講座について、新たな分野の講座や講師を開拓したいがその依頼先を見つけるのに苦慮している	新しい講座の企画・立案とそれを進めてくれる講師	新しい講座の企画・立案をして、講座を動めてくれる講師を紹介・派遣してくれるサービス	
37	文化スポーツ部	スポーツ課	・荒天時のグラウンドの状況をすぐに把握できない。 ・市民からのグラウンドについての情報提供（ルール違反のグラウンド利用者等）に対応する必要があるが、現地へ到着するまで時間がかかってしまう。 ・グラウンド内で器物破損等の事件が起こることがある。	市内グラウンドの状況を執務室にしながらリアルタイムで把握したい。	・監視カメラ（ネットワークカメラ）	
38	文化スポーツ部	図書館	図書館・図書室間で移送される本や予約された本には、識別・確認のため移送票・取置き票（横幅8cm、長さ10cm程度）を本に挟んでいる。職員は票の上部の記載を見て本の整理を行い、票は不要になった段階で廃棄している。 しかし、本の移送時や予約本の引渡しまでに票が脱落してしまうことがあり、その場合は本の識別・確認のため再度印刷する必要がある。 これまでは、職員が票を挟む部位を工夫し、挟まれた票が抜けないように場所を選ぶことで対処してきた。しかし、票を本に固定しているわけではないので、脱落を完全に防ぐことはできていない。	票の脱落を防ぐための、確実に効果がある対策が求められている。実施する数量が多いので、簡易な方法であることが好ましい。  現在、特に脱落が起こりやすい週刊誌で、雑誌をダブルクリップで挟んで票を固定する方法を実施している。しかしこの方法では、①厚いものでは実施不可能、②ダブルクリップで固定する部位が傷みやすい、という欠点があり、他の種類の本でも対応できる対策法が課題となっている。	本にはさんだ票が脱落しないように固定するアイデアとその物品。 (例)本が傷みにくくさまざまな厚さに対応できるクリップ、幅広のゴムバンド、票を入れるポケットがあるブックカバーなど 想定価格：1品100円以内	・本のサイズは多様であるので、複数の方法を組み合わせて実施する必要があると考えられる。 ・使用数量が多く、使用頻度が高いので、なるべく安く耐久的耐久性が必要。
39	文化スポーツ部	かすが市民文化財団	文芸館：市民会館玄関に設置されている傘袋スタンドについて、利用者は束になった傘袋に都度接触して袋を取り出さねばならず、接触感染対策の点からは懸念が残る。	傘袋の束に接触せずに利用者が傘袋を取り出せる必要がある	傘袋自動装着機の導入	
40	健康福祉部	社会福祉協議会	コロナ禍でオンライン会議の需要が高まっている。主催者側となった場合に、出席者の中にはPCを持っていない方、wi-fi環境が整っていない方もいる。	貸出用として、オンライン会議に参加するための機器をレンタルする。	PC、タブレット、Wi-Fi機器等のレンタルサービス  ・レンタル期間中、予備機の無料レンタルサービスあり ・セキュリティソフト導入済 ・配送サービスあり ・1台からレンタル可能 ・3日～1週間からレンタル可能 ・操作が簡単ですぐにオンライン会議に参加可能	
41	健康福祉部	社会福祉協議会	施設に無料Wi-Fi設備がないため、求人やアパート情報を入所者自身のスマートフォンで見ると利用料が高額になってしまう。また、学校でオンライン授業を受ける子どもが入所したときに対応できない。	入所者が納得いくまで求人情報やアパート情報を見ることが出来る。また、学校でオンライン授業を受ける子どもが入所したときの不安を解消できる。	Wi-Fi設備とプリンターの設置	
42	健康福祉部	社会福祉協議会	コロナウイルス感染症の影響による、住民のステイホーム時の生活がマンネリ化している。	自宅での過ごし方、(運動の方法、食事のとり方など)ステイホーム中における季節ごとの対策等の情報をアプリで、地区社協、住民主体団体に周知する。	介護予防講師派遣事業登録講師のメニュー(動画)や、市内で活動するボランティア登録団体の情報を見られるアプリを作成する。	
43	健康福祉部	社会福祉協議会	児童発達支援事業において、幼児向けおもちゃを使用しているが、毎日おもちゃを新型コロナウイルス感染予防で消毒するため、塗装が削がれたり、破損・故障しやすくなり、おもちゃの数も種類も減っている。また、おもちゃの保管場所が狭いため、大きなおもちゃは保管できない。	おもちゃの定期制レンタルサービスを利用し、おもちゃの安定した供給を目指す。発達年齢に合わせたおもちゃを清潔に安全に提供し、子どもの発達を促すことができ、利用児の親も衛生面での不安が減少できる。	おもちゃの定期制レンタルサービスを利用する。 毎月5～7点のおもちゃを毎月レンタル4,000円程度 ※ 汚れや傷の保証付き	
44	健康福祉部	社会福祉協議会	児童発達支援事業において、発達に遅れがある児童や親への支援を行うため、親子通所としている。利用児の兄弟姉妹(0～1歳)の同伴通所されることも多く、発達に遅れがある利用児と兄弟姉妹を同時に見ながらの療育は親の負担が大きい。同伴通所の兄弟姉妹は乳児のため、保育園の入園は現状厳しいことが多く、一時保育も満員のことが多いことから預け先がない。	サービス提供時間中の利用児の兄弟姉妹の預け先があれば、発達に遅れがある児童の親の育児負担が軽減される。兄弟姉妹の預け先がないと利用児と親がサービスを受けられない可能性が高くなる。	民間事業者による継続的な兄弟姉妹の託児の提供。 優先して受け入れてくれる保育施設の開拓。	

ニーズ 番号	部名等	課名等	各所属 ニーズ内容			
			現状の課題	解決するためニーズ	想定する製品・サービス	備考
45	健康福祉部	社会福祉協議会	生活介護事業の生産活動として年間を通して、シュレッダー作業を行っている。現在は一台のみ稼働して行っている。しかし、熱を持つため、30分程度で停止してしまふ。停止してしまふと、次の使用までに10～15分程度使用不可となり、作業できない。	能率を下げずにスムーズに作業を進めることを目標とする。	業務用シュレッダー定額レンタル 1台 4,000円/月	収入に対してレンタル料が多くなるため、レンタル料の交渉が必要。 理想は2,000～3,000円/月
46	健康福祉部	社会福祉協議会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、作業室や食堂に飛沫防止フィルムやパネルを設置しているが、手作りの簡易的なものである。感染防止対策とあわせ、自閉症の利用者向けに視覚情報を制限する機能をあわせたブースとなるものを設置したい。	機能とあわせ、すぐに壊れたり手で払いのけられるような簡易のものではなく、耐久性や安全性に優れた業者が作ったものを設置する。 今年度は予算がないため、予算化の必要と利用者全体の作業場所の検証が必要である。	飛沫感染及び個別ブースを確保できるパネル	
47	健康福祉部	健康管理事業団	休日・平日夜間急病診療所では、感染症対策として発熱患者とそれ以外の患者の切り分け（待合場所を分けるなど）を実施しているが、トイレなどは共通である。また最近では、必ずしも発熱患者が感染症罹患患者とは限らない状況であり、患者の切り分けが困難な状況である。随時消毒業務は実施しているが、限界がある。	現状の消毒業務に加え、施設全体の抗菌力を向上させる。	休日・平日夜間急病診療所内のトイレ、待合スペース、診察室等患者動線にあたる箇所の、抗菌コーティング施工（長期間効果が持続するもの）。	
48	健康福祉部	健康管理事業団	総合保健医療センター東側正面入口の外構タイル（利用者が歩く面）が雨で濡れるとすべりやすく、転倒の危険がある。	大規模な全面張替えを回避し、施設利用者に不便をかけないすべり止めの施工。	すべり止め加工やすべりにくいタイルや別素材への部分張替え等の施工。	
49	健康福祉部	健康管理事業団	総合保健医療センター東側付近の植栽が枯率が高く、景観が悪い。	当初に植栽した植物が根付かなかったのは、土が非常に悪く、植物の選定も管理に手間がかかるものであったためと推測する。	土を入れ替え、手間がかからない強い植物を植えるか、植栽ではなく景観を損ねない外構施工。	
50	青少年子ども部	子ども政策課	放課後児童クラブ（学童）について、夏休みなどの小学校の長期休業中は朝から夕方まで一日保育となる。児童は、学校からの宿題や外遊び、備え付けの図書・おもちゃで遊んで過ごす、熱中症対策で外遊びが出来なかったりするなど、一日の過ごし方に工夫が必要な状況である。	児童に様々な体験や経験を提供することで、メリハリや刺激を与え、一日の過ごし方の充実を図る。 提供するイベント等は、高額な費用を必要としないものとする。	・人形劇、マジックショー、実験教室、体験授業など。 ・1回30分～60分程度。 ・児童全員（60人程度）が参加・体験できるもの。	35か所全てのクラブに提供できること。
51	青少年子ども部	保育課	夏場の日差しが厳しく、日除けシェードを設置したいが園舎からの固定元が限られている。フェンスやコンクリート壁が近くにある場合はそれらにポールを固定して、シェードの固定元として利用している。しかし、シェードからの距離があったり角度が合わず、最適な位置に着脱式のポール等が設置できると良い。	着脱式ポールを園庭に設置	安価で耐久性のあるもの	
52	青少年子ども部	保育課	保育園は現在有線LANによってネットワークに接続している。しかし、今後パソコンの台数が増えた場合や各保育室での作業を考えると、園内に無線Wi-Fi環境を整備し、台数や作業場所にかかわらずネットワークに接続する環境が望ましい。	春日井市のネットワークやプリンターにも接続され、複数台のパソコンが接続可能であること	無線LANルーターを配備し、安価で安定したネットワークの構築	情報システム課及びデジタル推進課とも調整が必要
53	産業部	経済振興課	全国でも唯一の実生サボテン栽培の歴史を持ち、国内有数の生産量を誇る「サボテン」を核として、市民のまちへの愛着の醸成や地域産業の活性化を図ろうと取り組んでいる。 その取組の一環として、他市町からの来訪者や、広く市民全般に対して、「サボテンのまち」を印象付ける取組として、市の玄関口である「R春日井駅の駅前ロータリー」にサボテンオブジェを設置したい。	サボテンを模ったオブジェのデザイン及び制作（市を象徴するイメージとして使用されることを想定したもの）	・サボテンを模ったオブジェのデザイン及び制作 （高さ100cm～120cm程度、6～8点） 屋外での長期間設置に耐えるもの（鉄製・樹脂製問わず）	
54	産業部	農政課	あい農パーク春日井（ふれあい農業公園）内に施設内の排水等を受け取るためのオープン式調整池がある。現状は、立入り禁止区域にしており、デッドスペースとなっている。	①調整池を既存のまま、有効活用できる方策 ②オープン式の調整池を暗渠化し、上部利用できる方策 を見出したい。	①隣接するパーベキユーススペースを拡張し、快適に利用できる方法の提案等 ②低価格、短工期で暗渠化できる方法の提案	調整池 670平方メートル
55	産業部	企業活動支援課	当課では、事業者に対する市支援制度周知のために、助成金情報等をまとめたガイドブック（企業支援ガイド）を毎年4月に発行している。 企業支援ガイドについては、より分かりやすく情報提供できるように毎年修正を加えているところであるが、翌年度版の作成に向け、さらなるブラッシュアップを行いたい。	・企業支援ガイド（令和4年度版）の作成。 ・どうすれば、より手に取ってもらいやすく、より使いやすいものになるか、デザイン等についてアイデアをもらいたい（令和5年度版への反映も想定）。	企業支援ガイド（令和4年度版）のデザイン・印刷・製本。 想定価格：40万円～50万円程度	
56	産業部	企業活動支援課	助成金事業・メルマガ事業等の認知度が低いこと。特に、メルマガ登録者が伸び悩んでいること。	効率的な周知手段を提案していただきたい。	打ち合わせスペースなどに掲載できるようなポスター。	
57	産業部	企業活動支援課	助成金とはじめてする事業の周知不足。活用していただける事業者は、ある程度固定化されている。	現在、ホームページやメールマガジンを活用した周知活動を行っているが、他に、市内事業者向けに事業をPRする手段を提案していただきたい。	経営コンサルタント（事業PR、集客、SNS活用に強みを持った方）	
58	環境部	環境政策課	市民環境アカデミーの6回連続講座（対面講座とオンライン講座の併用）の内容を始め、講師の選定等、講座を開催するまでに多くの調整事項がある。	環境啓発を進めていくため、連続講座のほか、様々な効率的、効果的な講座を企画したい。	講座の手配から実施まで一括で運営するサービス。 想定価格：50万円程度 ・講師の選定及び日程調整 ・募集チラシ、受講者向け受講しおりの作成 ・会場設営 ・会場運営の手伝い ・謝礼等の支払い ・受講要旨の作成（市民への情報発信）	

ニーズ 番号	部名等	課名等	各所属 ニーズ内容			
			現状の課題	解決するためニーズ	想定する製品・サービス	備考
59	環境部	環境保全課	夏休みに小学生を対象とした自然学習会を屋外で開催しているため、熱中症対策を十分に必要がある。	電力供給が困難な状況でも適切な熱中症対策を行い、参加者の安全を確保する。	河原など電力供給がない屋外でも使用可能であり、熱中症対策に効果的な商品等の紹介(テント以外)	
60	環境部	環境分析センター	河川の水質調査や騒音測定では、多くの機材や試料の運搬を伴うが、調査地点付近に駐車できない場合は、人力で運搬することになるが、悪路で車を走らせられないことが多い。	作業者の負担を軽減して、荷物を運搬できるようにしたい。	荷物の重量が体の一点にかからないように背負える荷能や姿勢を支えるサポーター、悪路(河川敷)でも使用可能な台車など。	
61	環境部	環境分析センター	試薬管理を紙の台帳に記入することで管理しており、購入や廃棄する度に、台帳に記入することになるので時間を取られる。また、試薬の保管場所の確認等の時に台帳内を探す時間がかかる。	試薬の管理を電子化したい。	試薬に対してバーコード等が発行でき、読み取ることで購入、廃棄、試薬情報の管理ができるシステム。	
62	環境部	ごみ減量推進課	当課は、新たな施策や資源・ごみ排出マナーなど周知啓発する機会が多いが、従来から行っている広報やホームページ、町内会を通じたPRなどではなかなか行き届かない。また、チラシやポスターをデザインに関して素人である職員が行っており、魅力に欠けている。さらに、そういった媒体での程度周知できているか測りづらい。	素人でも魅力的なポスター、チラシが作れるようにする。市民への効果的なPR方法や周知等の効果の測定方法の確立	素人でも魅力的なポスター、チラシが作れる作成ソフト 周知できているかどうかを測れるアプリ	
63	環境部	清掃事業所	鳥獣などによりごみステーションが荒らされ、公衆衛生上の課題となっている。	防鳥用ネットを無償貸与しているが、適正に利用されていないケースもあり、安価で簡単に設置することができ、鳥獣被害防止に効果が期待できる製品が望まれる。	鳥獣によるごみ散乱防止に効果があり、周囲の通行に支障をきたすことなく簡単に設置することができるもの (想定単価:1,500円)	
64	環境部	クリーンセンター (エコメッセ春日井)	エコメッセ春日井では、ごみの減量と資源の再利用に関する情報並びに体験学習の場を提供し、市民意識の啓発を図るうえで、魅力ある講座の開拓が継続して必要である。	春日井市内の企業や近隣の先進的な取り組みをされている企業、NPO団体など、各企業や団体のノウハウやアイデアも生かしながら、エコメッセ春日井という環境啓発を行う場の活性化を継続して進めたい。また、多形で受講年齢を幅広く考え、多くの市民に参加してもらえるような魅力ある講座を考えたい。	材料、講師は企業からの提供とし、その企業の特徴を生かした作品作りの講座を行いたい。市からは、講師代8,000円、助手1名3,000円しか予算はありません。受講者からは、材料代として一定金額を徴収します。	土日で1講座(1時間半)をお願いしたい。
65	まちづくり推進部	住宅政策課	近年、市営住宅に入居する単身高齢者が住戸内で倒れ、外部からの通報等による安否確認の結果、救急搬送される事案が頻発している。発見までに時間が空き死亡や重症化する事例もあることから、不測事態(平時の健康確認→安否確認→早期発見→救急搬送→医療機関手続き代行)に備えたサービスがあると有益である。	ハード(通信機器・管理システム)とソフト(電話応対・現場出勤・医療機関への引継代行)が一体となったサービスが必要。	同左。	応益負担の観点から、入居者個人との契約になる。市はサービスの案内・啓発を行う。
66	まちづくり推進部	都市政策課	街づくり支援制度(狭あい道路の拡幅等)の活用を希望する地域が少ない。	要因の一つとして、制度の内容が難しいことが考えられるため、分かりやすく情報発信をしたい。 作成した動画をHPやYouTube、市民課のTVなど、多くの方が気軽に見れるようにしたい。	分かりやすい動画の作成 (想定価格10万円程度)	
67	まちづくり推進部	都市政策課	過去に都市計画決定した案件について、都市計画決定図書が全て紙ベースであり、図面に関してはA0サイズ等であるため、該当する図書を探すのに時間がかかる。	過去資料の目次及び内容をタブレット端末などに電子データ化することにより、早急に探すことが可能になる。また、他課も見られるように庁内GISと連動したい。	都市計画決定図書のデータベース化を行う際に、タブレット端末を用いた検索システムのほか、手書きの文字をスキャンする際に文字変換しPDF保存が可能な機能や大判の図面を小さな機器で手軽にスキャンすることでデータ化されるシステムの導入 (想定価格50万円程度)	
68	まちづくり推進部	ニュータウン創生課	・高森山公園は高蔵寺ニュータウンのシンボリックな自然豊かな公園である。40年前には山火事から住民主体によるどんぐり作戦(植樹活動)により緑を取り戻した歴史があるが、広大な里山部分は樹木が繁茂しすぎてしまい、景観が悪化するなどの課題が顕在化している。 ・市はまち会社やNPO法人らと協力して、持続可能な里山の保全活動に向け、住民参加の担い手育成講座を開催するなど取組を実施しているが、豊かな里山として生物の多様性向上や花が咲く山道を整えていくには組織体制の更なる強化が必要である。	・支援体制:里山林の維持管理に対するスポンサーの必要性 ・担い手の確保:里山に関わる人をどう増やすかという課題	★CSRの一環としてなど、維持管理活動を支援したい企業 (金銭的支援に限らず、広報支援や人的支援を含む) 例1:人材育成、研修の場としてSDGsを実践的に学ぶ除伐体験に参加したい企業を募集 例2:ゴミを出さない保全活動のため、除伐材の処分への支援 (除伐材の無償引取りやチップ化技術の提供など)	・高蔵寺・ニュータウン計画 第3章 <a href="https://www.city.kasugai.lg.jp/_res/projects/default_project/_page/001/008/973/2021dai3syou.pdf">https://www.city.kasugai.lg.jp/_res/projects/default_project/_page/001/008/973/2021dai3syou.pdf</a> ・高蔵寺N T公式HP:高森山公園でのこれまでの活動 <a href="https://kozoji-nt.com/?s=%E9%AB%E6%98%E6%A3%AE%E5%B1%B1">https://kozoji-nt.com/?s=%E9%AB%E6%98%E6%A3%AE%E5%B1%B1</a> ・NPO法人 高蔵寺どんぐりs HP <a href="http://www.kozoji-donguris.or.jp/action/category/tukuru/">http://www.kozoji-donguris.or.jp/action/category/tukuru/</a>
69	まちづくり推進部	ニュータウン創生課	令和3年12月からJR高蔵寺駅地下通路にデジタルサイネージを設置する。 高蔵寺ニュータウンへの子育て世帯の居住促進を図るため、サイネージを利用し、高蔵寺駅利用者からの情報の拡散を期待し、高蔵寺ニュータウンの魅力効果を効果的にPRしたい。	令和2年度に高蔵寺ニュータウンのPR動画を作成しているが、サイネージを有効活用する上で複数のコンテンツが必要と考えており、定期的にコンテンツを更新するなどのPR方法を検討したい。	定期的に新たな放映コンテンツを安価に作成する手法などの提案	
70	建設部	道路課	H29に舗装点検(路面性状調査)を行い、修繕計画策定を行ったが、道路の片車線(1車線)で18,000千円(H29)かかっており、全車線を行うと40,000千円以上かかると思われる。	車載カメラ等で簡易路面点検を行える機器	同左	
71	建設部	公園緑地課	公園施設にコンクリート製の滑り台等が多数あり、経年劣化によるひび割れが発生している。	施工業者や職人の減少により、コンクリートを滑らかでツルツルした面に修繕することができない。地元では愛着があるため、塗装で対応しているが、最終的には撤去することになる。	磁石業やコーティング等	
72	建設部	施設管理課	市庁舎などの大型施設で改修をおこなう場合、既存設備配管等の経路が不明確であることが、設計での不確定要素や施工での手戻りの原因となっている。	現状では2Dの図面と現場調査から把握するしかないが、可視部や多系統が入り組む範囲では必要な情報を得ることが難しく、また調査に時間を要する。そのため、施設全体を3次元モデルにすることで必要な情報を素早く引き出せるようにしたい。	設備に係るBIM(3Dモデリングデータ)作成 想定価格:100万円程度	BIM上で設置年などの属性を持たせることで施設マネジメントにも活用できる

ニーズ 番号	部署等	課名等	各所属 ニーズ内容			
			現状の課題	解決するためニーズ	想定する製品・サービス	備考
73	上下水道部	勝西浄化センター	施設内設備の機械部品、電気部品を購入しているが、把握している市内取扱業者が少なく、市外業者から購入しているケースが多い。	機械部品、電気部品等の市内取扱業者を把握し、積極的に購入を検討したい。	機械部品：下水用の仕切弁、水中ポンプなど 電気部品：電磁開閉器など	
74	上下水道部	市部浄化センター	中央監視室への入退所管理を紙で行っているが、監視室も複数ありその手間が大変である。	通過するだけで誰が入室したかを安価でかつ、確実に管理できるシステムが欲しい。	非接触でタグはキー程度の小型のものが好ましい。 非接触であれば上記以外の方法も可。	1部屋に対し出入口が2、3か所あり、その入退室管理を行いたい。
75	上下水道部	水道工務課	道路上等から水が出ているとの通報があった時に水道管漏水の有無の判断及び漏水箇所の特定に苦慮する場合がある。	・誰でも簡単に扱える漏水調査装置。	・漏水箇所及び漏水量の特定ができる製品 ・持ち運びが可能 ・誰でも取り扱いが可能 ・掘削工事等は行うことなく、すぐに調査可能	
76	上下水道部	配水管理事務所	配水管理事務所では、配水場16か所、浄水場2か所、ポンプ場8か所の施設があり、すべての施設に水道水の貯水池がある。定期的な内部調査を行うたびに内部に降りるステップ（気相部）が錆びてしまい、もし人が足を乗せて落ちてしまったら重大な事故になりかねない。	水道水には、消毒のために次亜塩素酸ナトリウムが注入されている。ステップの素材を比較的錆びにくいとされているステンレス製にしても錆びてしまう。安全確保ができるステップ等の素材や工法を提案してほしい。	ノーブレンステップやタラップなどで、JWWAの規格に適合しているもの。	
77	会計管理者	会計課	金額、通知書番号等が手書きされた納付書をシステムに入力するにあたり、委託先にて入力チェック等に手間がかかっている。また、誤入力により消込業務に影響が出る場合もある。	当該業務は、現在のところ専用のシステムを用いて業務委託している。民間における事例等を研究し、今後の参考としたい。	A I - O C R	個人情報を含むため、インターネットと接続しない状況で使用できる必要がある。
78	消防本部	消防総務課	当市の消防署所では、空気呼吸器用面体の気密検査を1基の検査用テスターを使用し、年1回実施している。面体1個当たりの検査に必要な時間は10分～30分であり、さらに今年度から面体を個人貸与とする予定であるため、昨年度よりおよそ3倍以上の時間及び労力が必要となる。なお、現在の検査テスターは面体に陽圧、負圧をかけて、漏れがないかをメーターで可視化できるものであるが、購入して20年以上経過しており、老朽化が進んでいる。	現場隊員の負担を軽減するため、空気呼吸器用面体（約270個）の気密検査を容易かつ確実に実施したい。 衛生面を配慮し、面体を個人貸与にしたため、衛生的に良好な状態で検査を実施したい。	空気呼吸器用面体の気密検査が容易かつ確実に実施できる機器及びサービス。 現在使用している検査テスターの価格が約20万円であるため、同程度かそれ以下の価格を想定しています。	
79	消防本部	消防総務課	令和6年4月供用開始を目標に消防署整備工事を進めている。敷地面積が現状よりも約5倍に広くなり、また、庁舎の衛生器具も増加される見込みである。そうした中で、市民に開かれた消防署として維持管理をどうするか検討がされていない。	消防職員は、災害に備え車両・資機材の点検、訓練、事務処理と一昔前に比べ業務量が増加しており、維持管理のための時間が中々確保できないため、安価で効果的なサービスを受け、庁舎の長寿命化に繋げていきたい。	敷地や庁舎の衛生器具等を清潔に保つ安価なサービス	安価なサービスがあれば、令和6年度からの予算の参考としたい。
80	教育委員会	教育総務課	異動等により、各校の少経験者の経理事務担当者等から個別に電話で問い合わせがあり、忙殺されてしまう。	学校間で解決・周知を図ることによって、問い合わせを絞り、電話件数を減らすこと。	学校のネットワークで利用することのできる、チャットツール	
81	教育委員会	学校教育課	学校現場に配置されている、正規職員以外の多様な人材の労働時間管理が、管理職の現認以外の方法がない。	出退勤に係る客観的な記録を残すこと。	出退勤時間の打刻（タイムカードは不可）、打刻内容の集計及び人事課報告様式への反映、打刻漏れに対するアラートが行えるシステム	
82	教育委員会	学校教育課	部活動指導の担い手不足（部活動指導員の人材不足）	部活動指導員の発掘、育成	部活動指導員の派遣	
83	教育委員会	野外教育センター都市緑化植物園	新型コロナウイルス感染症対策のため、講座、教室等の休止が度々ある。	オンライン開催・動画配信により対応できないか。	オープンソースソフトウェアを利用してシステム構築する。 ZOOM、SHOTCUT等	
84	議事事務局	議事課	議会報（かすがい市議会だより）を作成するにあたり、イラスト集（CD-ROM付の書籍）を使用しているのだが、購入してから年数が経過しておりイラスト内容が古い。	・イラストのデータ（JPEG等、一般的な画像データ形式） ・議会報に掲載しても問題ないもの（不特定多数への配付が問題ないもの） ・最近の出来事にも対応したイラスト内容（新型コロナウイルス感染症や、ICT等）	・イラスト集（CD-ROM等でデータが添付されている書籍） 1,000～3,000円/冊を想定 ・イラストをダウンロードできるサービス	